
石月英雄 外務省総合外交政策局審議官（大使）
中田厚仁氏没後30周年記念行事 外務大臣メッセージ
於：京都芸術大学（4月5日（水）－6日（木））



ご参列の皆様、こんにちは。外務大臣の林芳正です。本日、中田厚仁氏の没後30周年記念行事が開催される運びとなり、関係者の皆様のご尽力に敬意を表します。25歳で尊い命を落とされた中田さんが残した大きな功績のうち、本日は、3つの点に触れたいと思います。

1点目は、カンボジアの平和・発展に果たした功績です。中田さんは、国連ボランティアとして制憲議会選挙の準備作業に献身的に従事する中で凶弾に倒れましたが、その後選挙は無事に実施され、カンボジアに民主的な政府が樹立されました。同国は本年7月に総選挙を実施予定で、民主化に向けて尽力した中田さんの思いは受け継がれています。また、現在、カンボジアは国際平和に寄与する側となり、国連PKOミッションへ大きな人的貢献を果たしています。

2点目は、日カンボジア間の友好関係強化に果たした功績です。本年、外交関係樹立70周年を迎えた両国関係は「包括的戦略パートナーシップ」に格上げされました。昨年8月、私は中田さんの慰霊碑に献花を行いました。きれいに保たれた慰霊碑からはカンボジアの皆様の中田さんへの深い敬意が感じ取れました。また、中田さんが亡くなられたコンポントム州には中田さんの名を付けた「アツ村」「アツ小学校」があり、今も中田さんの足跡が残っています。

3点目は、国際平和への貢献を志す日本人に与えた影響です。外務省では「平和構築・開発におけるグローバル人材育成事業」を通じて、中田さんに続く国際平和に貢献する日本人を育成しています。国連ボランティアとしての1年間のフィールド経験はその重要な一部です。国際秩序が重大な挑戦を受けている中、我が国が国際平和の実現に果たす役割には高い期待が寄せられています。中田さんのように国際平和に貢献する日本人を今後とも支援していきます。

最後に、この場に参列された皆様のご健勝と益々のご活躍をお祈り申し上げ、私のメッセージとさせていただきます。ご静聴ありがとうございました。